

2021 年 12 月 25 日

ほしぞらサロン 2021 年 11 月議事録

文責:阪本 麻裕

日 時: 2021 年 11 月 27 日(土) 18:00~22:00

場 所: プラネタリウム事務所

参加者: 高尾, 高木, 町田*, 宮田

(50 音順、敬称略)

職 員: 小野田, 平野, 角田, 石橋, 阪本

計 9 名

* リモート(Zoom)参加者

1. 備品の更新について

望遠鏡や双眼鏡などの機材を、約 20 年を目処に更新している。前は、1996 年に導入した、セレストロンのシュミット・カセグレン望遠鏡(28 センチメートル)とミードのシュミット・カセグレン望遠鏡(30 センチメートル)の更新で、2015・2016 年にタカハシ(10 センチメートル)の屈折望遠鏡 2 台を購入した。今回は、2002 年に導入した、ビクセンの屈折望遠鏡(8 センチメートル)と反射望遠鏡(10 センチメートル)の更新を考えている。

小野田: 購入するのであればタカハシの望遠鏡が望ましいが、同じメーカーの製品と差し替えて更新していくのか。

角田: 今のところ購入を考えている望遠鏡は、ビクセンの反射望遠鏡(13 センチメートル)である。タカハシの望遠鏡ほど高価ではないが、性能は良い。現在所持している反射望遠鏡は、鏡が剥がれてしまい劣化している。修理に出すよりも新しく購入の方が望ましい。反射望遠鏡の利点は、天頂付近の恒星や天体が見やすいということである。

宮田: 反射望遠鏡を導入し始めたときは、観望会時に出していた気がする。新しく購入を考えている反射望遠鏡は、高倍率で見応えはあるのか。

角田: 見応えは、ほぼ変わらない。ただ、広くて明るい視野になる。今は反射望遠鏡を用いての観望は行っていないため、夏の時期に天頂付近に見えるアルビレオなどを見ていない。また、反射望遠鏡を保有しているスタッフがいたため、観望会時に固定で操作してもらっていた。

高木: 反射望遠鏡を操作できる代わりのスタッフがおらず、使わなくなった可能性がある。

宮田: どのくらいの予算で考えているのか。

角田: 当時はビクセンの屈折望遠鏡(8 センチメートル)と赤道儀のセットで 20 万円ほどであった。新しく購入するか否かは、来年の観望会の内容を何にするのかも見ながら考えていく。

2. 来年の観望会(ほしぞらウォッチング)について

前回のサロンで、来年の観望会の候補日について話し合いを行った。初回の観望会は、2022 年 3 月 5 日(土)に実施予定である。以下、来年の観望会の候補日・内容(案)が出ている。

=====

★ 3 月 5 日(土)「冬の星空」

19:00～19:30 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

19:30～20:30 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時よりプラネタリウムで解説を行う。

----- 候補日・内容(案) -----

★ 6 月 18 日(土)「太陽の観察」 ※ 夏至 [6 月 21 日(月)] の 3 日前

★ 9 月 10 日(土)「中秋の名月」 ※ 2022 年の中秋の名月は 9 月 10 日(土)

=====

★ 6 月 18 日(土)「太陽の観察」について

夏至 [6 月 21 日(月)] の 3 日前に実施予定である。

===== 予定 =====

17:00～18:00 太陽の観察(ユリックス正面玄関前)

18:15～18:45 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

※ 雨天時は、17 時よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

★ 9 月 10 日(土)「中秋の名月」について

来年の中秋の名月は 9 月 10 日(土)であり、満月でもある。

平野: 19 時 30 分で月の高度が約 8 度のため、低いのではないかな。

角田: 開始時刻、または場所を変更するか。例年であれば 19 時 30 分に開始、21 時に終了している。

宮田: 場所は、例年どおり風の丘で良いと思う。

平野: 今年実施したとき、月を観望する時間は 1 時間半もいらなかったと思う。

角田: 昨年まではブルーシートを敷いてお客さんにのんびりしてもらっていたが、今年は感染拡大防止のため、ブルーシートを出さなかった。滞留せずに月を見た人から帰ってもらっていた。

宮田: 20 時開始、21 時終了でどうか。

===== 予定 =====

18:46 月の出, 19:57 薄明終了

20:00～21:00 月の観望(風の丘)

※ 雨天時は、20 時よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

その他、来年度の観望会の候補日や内容を議論した。

角田： 観望会の要求水準により、年に観望会を最低 4 回は実施しないといけない(出張観望会を含む)。

小野田： 秋に木星と土星が見える。10 月 15 日(土)だと月は見えていない。29 日(土)はサロンがあるため、15 日(土)はどうか。

→10 月 15 日(土)に木星と土星の観望会を行う予定である。

===== 予定 =====

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19:30 よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

宮田： 小学校の夏休み期間に 1 回、観望会は実施したい。

角田： 8 月に実施したいところではあるが、出張観望会の依頼も多い傾向である。来年は宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産 5 周年を迎えるため、大島で七夕の時期に観望会を行ってほしいという打診もきている。8 月 6 日(土)を観望会の候補日としたいが、その前後で観望会の依頼があるかもしれない。8 月 20 日(土)はどうか。

→8 月 20 日(土)に夏の恒星をメインとした観望会を行う予定である。

===== 予定 =====

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19:30 よりプラネタリウムで解説を行う。

=====

【まとめ】

2022 年の観望会は、計 5 回を予定している(スタンプカード実施回)。

=====

★ 3 月 5 日(土)「冬の星空」

19:00～19:30 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

19:30～20:30 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時よりプラネタリウムで解説のみを行う。

★ 6 月 18 日(土)「太陽の観察」 ※ 夏至 [6 月 21 日(月)] の 3 日前

17:00～18:00 太陽の観察(ユリックス正面玄関前)

18:15～18:45 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

※ 雨天時は、17 時よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 8 月 20 日 (土) 「夏の星空」

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時 30 分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

★ 9 月 10 日 (土) 「中秋の名月」 ※ 2022 年の中秋の名月は 9 月 10 日 (土)

20:00～21:00 月の観望(風の丘)

※ 雨天時は、観望会を中止し 20 時よりプラネタリウムでの解説に変更する。

★ 10 月 15 日 (土) 「木星・土星」

19:30～20:00 プラネタリウム解説(プラネタリウム)

20:00～21:00 天体観望(アクアドーム前広場)

※ 雨天時は、19 時 30 分よりプラネタリウムでの解説のみを行う。

※ 2023 年の初回の観望会は 3 月上旬頃が良いのではないかと案も出ている。

3. クリスマスの活動について

例年、12 月の土曜日・日曜日のこども向けプログラムの前後に、職員やスタッフがサンタやトナカイ等の格好をしてお出迎え・お見送りしている。昨年度は感染拡大防止のため、衣装を兼用で使用せず、それぞれ専用の衣装を用意し着用した。今年度も昨年度と同様に予定である。

4. 12 月の活動について

★ 12 月 11 日 (土) ほしぞら友の会(9:30～10:45 流星について)

★ 12 月 25 日 (土) Xmas ツリー片付け・ほしぞらサロン(18:00～22:00)

次回のほしぞらサロンは、2021 年 12 月 25 日 (土) です。